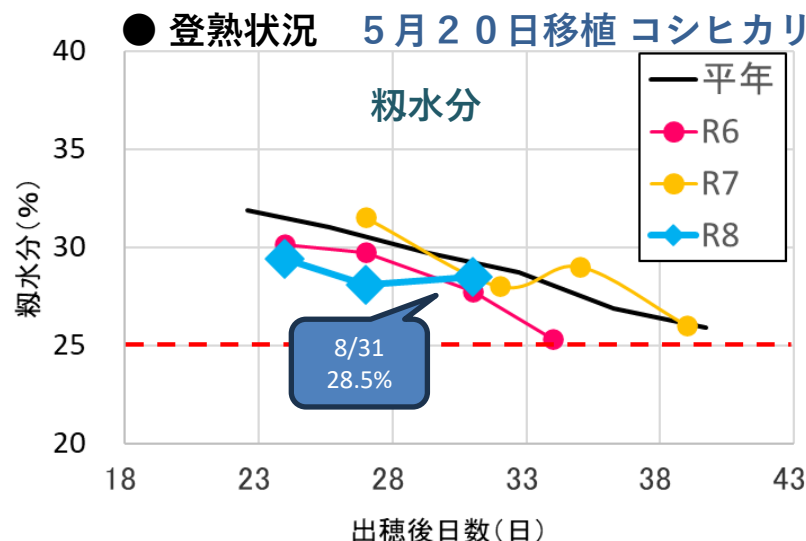


コシヒカリ登熟状況・冠水圃場対応

水田農業レベルアップ委員会 技術普及推進部会 [作成:福井県農業試験場、福井米戦略課、JA福井県中央会]

コシヒカリの成熟期は平年よりやや早くなる見込みです。現時点の籾水分は、直近の降雨によって、低下していませんが、今後の天候によっては急激な籾水分の低下が生じることも想定されます。
特に、今回の豪雨で冠水被害を受けた水稻は、品質低下防止のため、籾水分を測定し、適期に収穫しましょう。

【農業試験場の登熟状況・成熟期予測】



● コシヒカリ成熟期予測 (農試)

移植日 5月20日
出穂期 7月31日 (平年-2日)
成熟期予測 9月5日

● いちほまれ成熟期予測 (農試)

移植日 5月20日
出穂期 8月3日 (平年-1日)
成熟期予測 9月8日

* 今後の気象条件によって変動する
* 登熟の進み方には地域差がある
* 葉色が薄いところは成熟期が早まりやすい

【今回の豪雨で冠水等が見られた圃場の対応】

水稻共通事項

・排水口の詰まり等を確認し、
圃場の排水に努める

収穫直前の水稻品種

・穂発芽や胴割れ等による品質低下を避けるため、
籾水分を定期的に測定し、適期に収穫する
・冠水した圃場は未冠水圃場と区分して、収穫等の管理を行う

収穫まで期間がある水稻品種

・農薬の使用基準を確認し、細菌病等に効果のある
薬剤の散布を検討する (薬剤例) ブラシン等
・排水後は、こまめな間断通水を継続する
・収穫直前の圃場状況を確認し、区分管理を検討する

雑穀(大豆・そば) 共通事項

・**停滞水を速やかに排出するため、
溝の手直しや連結を行い、圃場の
排水に努める**

大豆

・冠水した圃場は病害の発生が
懸念されるため、基幹防除を徹底
する。
・圃場内の病害の早期発見に努め、
病害に合わせた追加防除を
検討する。